

明るく住みよい安心・安全の  
町内会をめざす

## 平岸高台第五町内会

平岸6条12丁目(一部)、7条12丁目・13丁目(一部) / 170世帯

うちの町内会はいま、大きな分かれ道に来ていると思うんです。このまま町内会を継続するのか、やめるのかという悩みが次第に大きくなっています。

こうした話題が出てきた背景の一つに、町内会区域が羊ヶ丘通りを挟み二つのエリアに分かれていることがある。一方は古くからの戸建てが多いエリア、一方はマンション、アパートが多く町内会未加入の方も多しエリアでね。居住形態や立ちの差からか、住民の町内会活動の捉え方にも温度差があり、それでも歴代会長も私も分断させず仲良くやろうとがんばってきたの。でも町内会を守るためにも小さな町内会に分けてそれぞれに合う活動にしたらいとか、なんなら解散してはどうかという意見が出てきた。

それから古い戸建てが多かったエリアもここ数年で30代くらいの若い世帯が移り住み、世代交代が始まってね。ただ活動への参加がまだまだ少ない。それで古くからの住人に、「交流会をするから参加してよ」と誘うと、「ふだんからずっとつきあいのある人がいるもの、新たに交流しなくていい」と言われちゃう。役員に加わって町内会を引っ張る仲間、もっと言えば次期会長候補が見つからないのが一番悩ましいね。

うちはこれまで、助け合いと気にかかけ合いがしぜんにできていたまちなの。雪かきで隣近所が何気なく手を貸してくれる町内会。そのありがたさを、ふつうすぎてみんな気付かないのかもしれないね。こんなこと言いたくないけれど、なくなつてはじめて町内会の良さがわかると思う。町内会って、誰かがしてくれる、好きな人でやっているって思われがち。なかには解散しても、札幌市が何でもしてくれるから困らないんだって言う人も。そんなことはないよね。地域に住んでいる人が、自分のまちを考えないで、市に何をどう言っていけるのだろうね。危機感もって真剣に考える時なんだわ。しぜんな助け合いのあるうちの町内会の良さを、新しく移ってきた若い人にも感じてほしいのね。



会長  
えはら まゆみ  
荻原 真弓さん

小さいながらもわが町内会

## 平岸高台第六町内会

平岸6条12丁目(一部) / 87世帯

いま新築の一戸建てやマンションがポツポツ増え始めていて、町内会に加入してくれています。20代後半から40代といった若い家族が移り住み、まちが活気づいてくるのは嬉しいね。月寒公園、平岸高台公園、ぼうず山に隣接して学校や区役所も近く、子育てにも環境のよい地域。長く居住された方から、新しい人たちに入れ替わる時期なのでしょうね。

私は、家庭も地域も「声のかけあい」が何よりたいせつだと思っています。「おはよう」、「元気?」といったあたりまえの言葉が関係をつくるから。あいさつされて悪く思う人はいないでしょう? 町内清掃に出てきた人どうしが、「久しぶりね」とか「ごろうさま」とか、なにげなく声をかけるようすは、本当にいいものです。大きなイベントがなくても日常の生活や小さな活動のなかで、互いが言葉をかけ合える、おらかな町内会をめざしたいんです。

若い世代には、まず班長などをお願いして、しぜんと町内会活動に溶け込んでいってほしいですね。ただ先日「昔からいる人は世話好きが過ぎて、かえって煩わしく感じることもある。忙しいし町内会にはこだわりたくないんです」と本音を漏らされてね。私も若い時は仕事が多忙で、地域のことは人付き合いの良い女房に任せきりだったから理解できてしまっ……。そういうのを聞くと、お願いもむずかしくてね。

いまは夫婦共働き世帯がほとんどで昼間は地域との接点がないうえに、休日も家庭の用事優先で町内会行事には参加しにくいでしょう。町内会レクリエーションにも人が集まらなくなってきた、とうとうやめました。役員にもできるだけ負担をかけたくないから、町内会は最低限の活動にしまったの。人に無理強いはしたくないって気持ちと、寂しい町内会になってしまう悩みとがぶつかるね。

若い人や新しくこのまちに来てくれた人に遠慮せず、どんな町内会がいいか、どんなことなら関わられるか尋ねられたらいいんだよね。



会長  
わだ みちかず  
和田 道一さん

きずなきはぐくみ  
あたたかい町内会づくり

## 平岸高台第七町内会

平岸4条12丁目~14丁目、5条12丁目・13丁目、6条12丁目 / 163世帯

町内すべての世帯に、町内会のお知らせや活動の情報を発信してゆくのはむずかしくてね。とくに賃貸マンションやアパートは、回覧は要らないってところもあって、掲示板もない場合があるから、情報の届けかたに悩みます。会費を払って入会しているメリットを感じてもらいにくい。除排雪くらいだろうか。行事があるからみんなに参加して欲しいと思っているの。今ならSNSを使って発信するなどのアイデアもあるだろうけど、町内会のお知らせにどのくらい効果的なのかなと感じる。得意な人に役員に入ってもらって、広報をはじめ活躍してほしいと思うよ。新しい人の新鮮なアイデアをもらえたらいいな。

町内のエリアには、HTB(北海道テレビ放送)のテレビ番組から全国的に有名になった平岸高台公園がある。地下鉄南平岸駅にも近く利便性があるから、戸建てやマンションが増えてきているよ。私が住み始めたのは昭和50年代。高台で見晴らしの良いところを探して気に入ったの。当時は町内から手稲山までスーツと見えていた。子どもが小さいころは平岸高台公園でスキーをしたよ。いまもとても住みやすく環境の良いところですよ。

4~5年前から「町内そば打ち会」を平岸高台会館でしています。役員にそば打ち会の先生がいて、朝早くから準備に張り切ってくれるの。幌加内、浦臼、新得などの産地からそば粉を取り寄せ、みんなでそば打ちし、新そばを食べ比べるんです。回覧を見て20~30人が集まるよ。おいしいものを食べてわいわいと、みんな喜んでくれるよ。またいつか再開できたらいいな。ほかに秋の遠足で温泉日帰りをしたり、白石藻岩通りに花植えをしたり、資源回収をやったり、楽しく協力し合う町内会ですよ。

町内会なんて、この先なくなってしまうんじゃないかなって感じることもある。でも隣近所でしかできない、いざというときに助け合える関係ってこれからもたいせつだし、あったほうがいいと思うんだ。



会長  
やまき やすお  
八巻 康夫さん

空気のような町内会でありたい

## 平岸高台第八町内会

平岸5条11丁目・12丁目、6条11丁目・12丁目(一部) / 245世帯

もともと一軒家が多かった町内に、分譲マンションや小規模の賃貸マンションが増えてきているよ。分譲マンションのみなさんは、町内会活動に協力的で、地域に溶け込もうとしてくれます。朝、雪かきしているときなど、家の前の大型マンションから出てくる人に「おはようございます」って、こっちから声をかけるのさ。相手が気づかなくても毎日あいさつの声かけをするうちに立ち話になり、そのうち向こうからも声をかけてくるようになる……。すべてあいさつが始まりだよ。

夏にはアサヒビール園で「懇親会」——親子連れなど60名ほどが参加してくれるよ。また、家の周辺掃除をスタートに平岸ぼうず山公園がゴールの「春・秋の町内清掃」——新顔さんと古顔さんがそろって町内美化に汗を流し、会員のみなさんと直接言葉を交わす楽しい行事だよ。

僕のところには、隣近の人からよく相談が持ちかけられる。町内会に入っていない人も来る(笑)。訪ねて来られたら門前払いしない。相談内容は役員で共有し、僕一人で抱え込まないようにしているよ。役員はそれぞれ現役時代の仕事で培ったスキルもあり、智恵を寄せ忌憚なく議論ができるいいメンバー。解決できないことがほとんどだけ「困っている人の話は聞く」。これもだいたいしているよ。

見守り活動など行政から町内会へのお願いが増えている。本来は行政の仕事だよ。スマホが命——顔を会わせないSNS、LINEなどを使ったコミュニケーションがふつうになって、スマホ一つで全国の人とつながる自己完結・自己責任の時代。少子化、共働きもあたりまえの世の中になっている。札幌市の若手職員に聞いてみたいよ。「町内会は必要かい?」、「魅力ある地域コミュニティとは何なの?」って。若い人が思い描く、魅力あるコミュニティ、……見てみたいなあ。



会長  
かたにわ まさし  
片庭 将さん